

大谷光尊 おほたに くのりたか 僧侶、歌人。嘉永二年（一八五〇）一月五日京都（西本願寺跡）生れ、明治二十六年一月十八日歿（一八五〇—一九〇三）。字子馨、幼名岫若。法名明如、號六華。また藤原朝臣光尊、釋光尊、釋明如等と署す。大谷光澤の五男。萬延元年大僧正に任じ、明治四年（一八一）代法主。宗規、寺法等の改革に努め、教誨、置隊布教等の社會教化、慈善活動に當り  
た。

『明如上人御消息集』大正八年四月十日京都・本願寺派本願寺編刊）  
の他、『明如上人遺芳錄』（明治二十六年）二月三日國光社編刊）、上  
原芳太郎編『明如上人畧年表』（昭和十年一月）二十五日京都・眞宗本  
願寺派護持會財團）等がある。

